

第2回黒須田川流入水路等のダイオキシン類

対策本部会議の結果について

本日、第2回黒須田川流入水路等のダイオキシン類対策本部を開催し、次の事項を決定しましたので、お知らせします。

1 大伸建設株式会社に焼却施設の使用停止等の行政処分手続を開始

- ・ 市は、4月19日以降、連日、大伸建設株式会社に立入り、施設改善等の行政指導を行ってきました。それに基づき、同社は緊急措置として流入水路への排水停止の措置をとりました。しかし、再発防止などの抜本的で恒久的な措置がとられないまま、産業廃棄物の焼却施設を操業していますので、対策本部は、廃棄物処理法及びダイオキシン類対策特別措置法に基づき、当該施設の改善が完了するまでの間、その使用の一時停止命令を行うため、行政手続法に基づく手続に入ることを決定しました。

2 黒須田川流入水路等の調査結果

- ・ 大伸建設株式会社から流入水路への排水が停止した後の、4月30日に採水した流入水路、黒須田川及び谷本川の7地点での河川水並びに5月2日に採取した同社の敷地内の湧水及びU字溝内の堆積物について、調査結果の速報値を得ました。
- ・ 公共用水域の流入水路、黒須田川及び谷本川の7地点のうち、環境基準(1 pg-TEQ/L)に適合しているのは、谷本川の2地点のみで、流入水路、黒須田川の5地点はいずれも環境基準を超えていました。また、同社の敷地内の湧水及びU字溝内の堆積物のダイオキシン類濃度については、湧水が4.4 pg-TEQ/L、堆積物は3100 pg-TEQ/gでした。(資料1)
- ・ 流入水路等の濃度は、3月14日の時点よりも改善傾向にありますが、なお環境基準を超過していますので、早急に原因究明調査を行うとともに、河川水の継続調査も実施します。また、同社の敷地内に高濃度の堆積物があることが判明しましたので、その撤去など施設改善の指導をしてまいります。

3 麻生区大気環境の調査結果

- ・ 麻生区大気環境濃度の13年度の年平均値が環境基準(0.6 pg-TEQ/

m³) を超えたことから、4月18～19日(24時間)に再度追跡調査を行い、その調査結果の速報値を得ました。

- ・ 結果は、麻生小学校など9地点では環境基準をクリアしていましたが、「健康とふれあいの広場南側近傍」では、2.9～3.0 pg-TEQ / m³ と高濃度の数値がでました。(資料2)
- ・ この結果をうけて、対策本部では、高濃度を示した「健康とふれあいの広場南側近傍」周辺について横浜市とも協力して継続調査するとともに、学識経験者で構成する「専門家会議」を設置し、大気環境基準超過の原因究明、今後の対応について専門的立場からも提言をいただく予定です。

4 住民説明会の開催

麻生区の大気環境濃度及び黒須田川流入水路等のダイオキシン類問題についての住民説明会を、次の要領で開催します。

麻生区	日時	平成14年5月24日(金)
	午後の部	午後2時～4時
	夜の部	午後6時～8時
場所	麻生区役所	4階 第1会議室

横浜市青葉区

日時	平成14年5月26日(日)
場所	午前(10～12時)の部 美しが丘西地区センター
	午後(2～4時)の部 すずき野コミュニティハウス

5 専門家会議の開催

麻生区の大気環境濃度及び黒須田川流入水路等のダイオキシン類問題について、対策本部の諸対策を専門的見地から補佐するため、市は、公衆衛生、ダイオキシン分析、リスク評価、労働衛生、健康影響評価、大気拡散解析の各分野の学識経験者で構成する「専門家会議」を設置し、次の要領で初会合を開きます。(資料3)

日時	平成14年5月27日(月)	午後2時～4時
場所	いさご会館	4階 第3会議室

問い合わせ

公害部化学物質担当	興石	200-2532
大気課	青山	200-2515
水質課	漆畑	200-2519
生活環境部廃棄物指導課	小松	200-2592